

# プランを策定しました

問 市民病院医事経営課 ☎48-5050

## 策定の趣旨

新興感染症などへの対応も含めた「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、今後の市民病院における新たな経営計画を策定するため、「碧南市民病院経営強化プラン」を策定しました。

## 市民病院の目指す姿

今後、人口減少が進む中で、高齢患者、回復期機能に対する医療需要の拡大が見込まれます。地域の将来的な医療環境の変化を見据え、救急告示病院、在宅療養後方支援病院として引き続き市民の期待に応えるとともに、地域の医療機関との更なる連携促進により地域医療の拠点機能として紹介受診重点医療機関となることを検討し、地域に求められる医療機関を目指します。また、必要な人材を確保することでより高い生産性を実現し、働きがいと働きやすさを両立した、持続可能な運営体制の構築を目指します。

## 計画期間

令和5年度～令和9年度



## 市民病院の重点課題

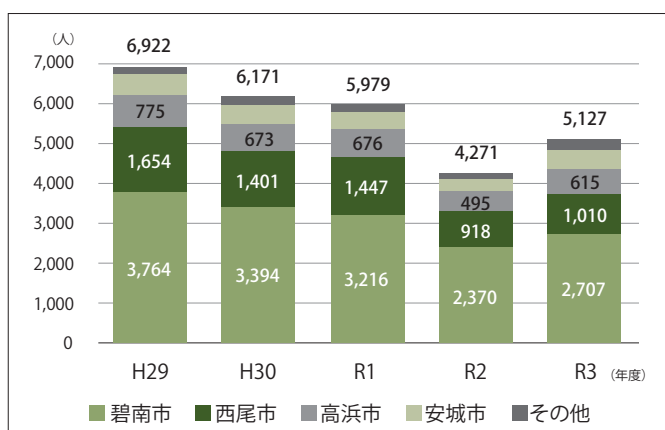
市民病院が目指す将来の姿の実現に向け、経営強化プランでは次の重点課題に対する取り組みを推進します。

- ・救急、感染症、災害医療提供体制の確保
- ・急性期機能の充実、病診連携の推進
- ・回復期機能の充実、地域包括ケアシステムへの貢献
- ・病院間連携、役割分担、長期構想の検討
- ・生産性の向上、患者サービスの充実
- ・職員の働きやすい環境の整備と人材の確保
- ・持続可能な経営管理体制の整備

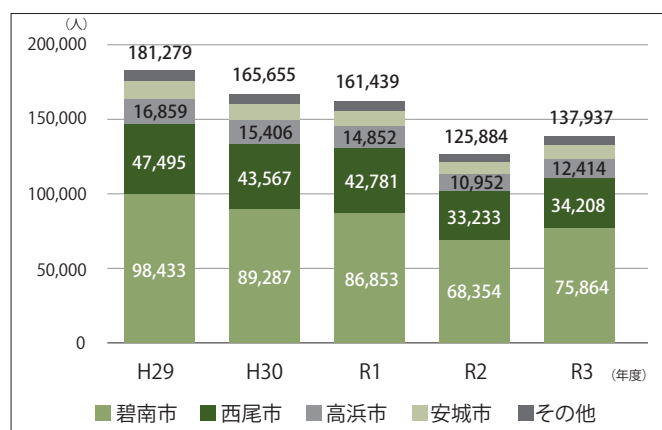
## 市民病院の患者数

市民病院の患者数は入院・外来ともに減少傾向にあります。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う診療制限や患者の受診控えにより大きく減少し、その後令和3年度においても以前の水準まで戻っていない状況で推移しています。

### 入院患者数



### 外来患者数



## 市民病院の概要

**病床数** 一般255床（うち地域包括ケア病床45床含む）

**診療科目**（20科目）

内科・循環器内科・メンタルクリニック・神経内科・アレルギー科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・呼吸器外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・病理診断科・歯科口腔外科



## 経営強化プランにおける取り組み

### 1. 役割・機能の最適化と連携強化

- ・市民病院は市における救急医療及び急性期医療の中心的な役割を担っています
- ・今後の高齢患者の増加に対し、救急告示病院として高齢者の救急医療体制の整備とともに、在宅復帰支援や在宅療養後方支援の役割を果たすべき回復期医療も担っていきます
- ・急性期治療後の在宅復帰支援の充実に努め、在宅患者や介護施設入所者の急性増悪時の受け入れなどの在宅療養後方支援体制により在宅での生活を支える機能を強化します
- ・開業医などの地域のかかりつけ医との連携強化を図り、病診連携を推進します
- ・患者の地域生活への円滑な移行、在宅医療、介護からの速やかな受け入れが行えるよう介護施設及び在宅医との連携を推進します
- ・地域の基幹病院と連携強化を図り、病病連携による回復期の患者の受け入れ体制を構築します
- ・組織的な連携の強化に向けて、他病院などとの地域医療連携推進法人制度の活用も検討していきます
- ・地方公営企業への繰り出し基準を原則とし、必要に応じて経営安定化に資する経費として基準外での繰り入れを行います
- ・市民病院の役割、運営状況について市議会や市民病院運営審議会を通じて理解促進を図ります

### 2. 医師・看護師・メディカルスタッフなどの確保と働き方改革

- ・大学、基幹病院などと連携して救急医や病院総合医などを始め、各診療科の常勤医師の確保に努めます
- ・職員の誰もが安心して長く働ける病院づくりをし、病院機能に応じて看護師、メディカルスタッフの人材確保に努めます



#### 看護師・助産師を募集しています

 市民病院管理課  48-5050

詳しくはホームページで確認又は  
問い合わせてください。



### 3. 経営形態の見直し

- ・経営環境の変化に対応するため、経営管理体制の強化に向けてより自律的で機動的な経営を行うために経営形態の見直しを検討します

### 4. 新興感染症の感染拡大時などに備えた平時からの取り組み

- ・現在の新型コロナ専門病床を新興感染症が拡大した際には一般病床から専門病床へ転用し、機動的な活用を図っていきます
- ・地域の医療機関や保健所などとの連携、次世代の専門人材の育成確保、感染防具などの備蓄、院内感染対策の徹底などを行います

### 5. 施設・設備の最適化

- ・長期的な視点をもって今後の老朽化を踏まえ将来的な建物の在り方の検討、医療機器の適切な管理を図っていきます
- ・患者サービスの向上及び業務の効率化の推進を目的に、ICTの活用を図っていきます

### 6. 経営の効率化など

- ・病院組織改革を実行し、地域に根ざして患者の確保を図るとともに、経費の節減及び適正な施設基準などの取得により診療報酬を確保し、令和9年度の経常収支黒字化を目指します。

